



あと2週間あまいで一学期も終わりです…。

これまでの自分の生き方を振り返り、これからの生き方につなげていく。
良き一学期の締めくくりに向けて、有意義な時間を過ごしてください。

梅雨明け宣言が待ち遠しい蒸し暑い日々が続いていますが、保護者の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。各家庭において、週末の激しい雨の影響がなかったことを心から願っているところです。

さて、生徒達は、第一学期締めくくりの時期を迎え、返却された期末テストの結果に一喜一憂しながらも、新たな目標を設定し、夏休みまで残りわずかとなった学習活動や部活動に汗を流しているところです。また、6月30日(金)に開催された令和5年度の生徒総会では、生徒会役員を中心に生徒一人一人が、郡中の学校生活を生徒自らの力で、より充実させ、発展させていこうという思いが感じられ、生徒達の成長を本当に頼り思った次第です。

そして、いよいよ生徒達は夏休みを迎えます。この一学期、生徒達は、いくつもの出来事を経験したからこそ、様々な思いや考えをたくさん抱くことが出来たと思います。また、その一つ一つの出来事と向き合いながら、それを乗り越えることで、前よりも少したくましく成長できた生徒達もたくさんいたことでしょう。

そんな生徒達には、これまでの自分の生き方を丁寧に振り返り、これからの生き方にしっかりとつなげていくことの大切さを伝えたいと思っています。それは、生徒一人一人が自分の生き方を振り返る中で、良き一学期の締めくくりに向けて、充実した有意義な時間を過ごしてほしいと願っているからです。

これからも生徒達は、刻々と変化していく世界情勢・日本経済や新たな情報化・技術革新の波、そして、近年増加傾向にある自然災害等、本当に予測困難な変化の激しい社会を生きていくこととなります。

そして、そのような社会を生き抜き、自立する中で、自分自身の夢や希望を実現していく「生きる力」をしっかりと身につけていくことが求められているのです。

郡中学校では、現在の学習指導要領が示す日々の学びを通して、この「生きる力」を生徒一人一人にしっかりと育てていくことに、これからも真摯に取り組んでいきます。保護者の皆様におかれましては、本校の目指す教育活動をご理解いただき、引き続き、ご協力ご支援のほどよろしく申し上げます。



2年生が4月に受検した「長崎県学力検査」の結果が発表されました。 その結果を、【速報】としてお知らせします。

4月18日(火)に「本県独自の学力調査を実施することにより、児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、各学校における児童生徒への教育指導の充実や改善等に役立てると共に、県及び市町の教育施策の成果と課題を検証して学力向上対策の一層の充実を図る。」ことを目的にして第2学年生徒が受検した長崎県学力検査の結果が発表されました。そこで、その結果を各教科の観点別・全体正答率及び領域別正答率としてお知らせします。ご一読ください。※なお、2年生の生徒達には、検査結果を個人票としてお返しします。

教科	対象生徒	人数	知識・技能	思考・判断・表現	全体
2年生 国語	県全体	10065人	64.2%	56.6%	59.8%
	大村市全体	919人	60.9%	54.0%	56.9%
	大村市立郡中学校	201人	65.5%	54.8%	59.3%
2年生 数学	県全体	10059人	59.7%	32.0%	53.5%
	大村市全体	921人	56.8%	24.1%	49.5%
	大村市立郡中学校	200人	59.1%	28.1%	52.2%
教科	対象生徒	知識及び技能	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと
2年生 国語	県全体	64.2%	67.9%	58.6%	46.1%
	大村市立郡中学校	65.5%	68.5%	57.3%	42.0%
教科	対象生徒	数と式	図形	関数	データの活用
2年生 数学	県全体	54.5%	51.7%	56.7%	50.6%
	大村市立郡中学校	52.8%	53.6%	52.1%	50.0%

【分析結果】

○国語・数学の観点別・全体正答率においては、郡中生徒の結果が大村市全体の平均を全ての項目において上回りました。

県全体と比較すると全体正答率は国語は同程度、数学はやや下回りました。その原因としては、観点別正答率の知識・技能の観点では、県全体と比較しても国語は高い、数学は同程度であるが、思考・判断・表現の観点では、国語と数学のどちらとも落ち込んでいる。

このように知識・技能の高い定着率を思考・判断・表現の育成につなげていく授業の取組が今後必要だと考えます。

○国語の領域別正答率においては、知識及び技能、話すこと・聞くことの2領域においては郡中の生徒の結果が県全体を上回っていますが、書くことや読むことの2領域は下回っています。つまり、国語においては、生徒の読解力、また、読み取った情報をもとに書き表す力を、今後高めていく必要があると考えます。

○数学の領域別正答率においては、図形、データの活用の2領域においては同等かやや下回る結果でしたが、数と式、関数の2領域においては、かなり下回る結果となりました。この2領域に対する意図的な問題演習等の取組、継続的指導改善が必要だと考えます。



左に示したように、生徒、先生方の頑張りにより、長崎県学力検査の結果が示す郡中2年生の学力は、確実に伸びてきています。

しかし、さらに高みを目指すため、右に示す分析結果等を参考にしながら、これからも歩みを止めることなくチーム郡で日々の授業改善に努めていきます！
ご家庭からのサポートもよろしくお祈りします！

【長崎県学力検査の経年比較】

	令和4年度	令和5年度
○郡中2年生の国語 県との比較	-0.5	-0.5
市との比較	-0.6	+2.4
○郡中2年生の数学 県との比較	-7.6	-1.3
市との比較	-3.4	+2.7

令和5年度生徒総会終了！ チーム郡として生徒一人一人の力を合わせて郡中の学校生活をより充実させ、発展させていきましょう！

時折激しい雨が降る大変蒸し暑い中でしたが、6月30日（金）郡中全生徒が体育館に集う中で、令和5年度の生徒総会が開催されました。第77代生徒会長の朝長小百合さんの挨拶で始まり、議長に選出された3年生瀬戸口陽大さんと津田千颯さんの進行により、第1号議案「各委員会の目指す姿・活動内容」と第2号議案「郡中BRAND」について熱心な協議が重ねられました。これまで積み重ねてきた生徒会執行部や学級における討議事項を踏まえ、生徒会役員を中心に生徒一人一人が、この生徒総会を通して郡中の学校生活を自らの力で、より充実させ、発展させていこうという思いがしっかりと伝わる有意義な時間になったと思います。但し、これからが本当の意味で郡中全生徒の意識と行動力が試されるのだと思います。本日の生徒総会で決議された内容をもう一度しっかりと振り返り、生徒一人一人の言動や委員会活動に具現化できるように努めていきましょう。「超越～今を遥かに超えてゆけ～」の生徒会スローガンのもと、さらに「チーム郡」の輝きが増してくることを期待しています。

なお、この紙面においては主に第2号議案「郡中BRAND」の協議について紹介させていただきます。



令和5年度生徒総会の開催に際しての会長挨拶

本総会では、この伝統ある郡中に新たな伝統を創り進化させることを目的として行います。今の郡中に必要なことは何なのか、郡中生であるために自分はどうのよう行動や姿でいるべきなのか、一人一人が真剣に考えてほしいと思います。「人は進化し続ける」チーム郡一丸となって、より良い学校を創り上げていきましょう。

第77代生徒会長
朝長小百合



第2号議案 郡中BRAND

～生徒のあるべき姿について～

【提案理由】

この郡中学校が「愛される生徒がいる、愛される学校」になるには、様々な環境で成長してきた一人一人の意見や、違いを認め合い、たとえ授業中や休日であっても、たとえ学校や地域であっても、たとえ相手が友人や大人であっても、それが正しい言葉や行動なのかを自分で考え、郡中の教育目標である「自ら行動、達成して感動」を達成できる生徒であってほしいと思います。そこで「郡中生としてあるべき姿」を各学級で協議してもらい、決定した意見を発表してください。各学級の意見をもとに、この生徒総会で集約し、郡中BRANDとして一つにまとめていきたいと思っています。

【郡中BRAND】（生徒総会決議事項）

～個性を認め、いつでも、どこでも、誰が相手でも、自ら考え、行動する郡中生～

個性を認めるとは、相手を思いやり、自分と相手との違いを理解して行動に移すことです。一人一人成長した環境が異なるということは、人によって意見や価値観が異なるのは当たり前です。違いを認め合うことで、誰もが過ごしやすい環境を創り上げることができます。その中で、いつでも、どこでも、誰が相手であっても、挨拶、返事などの礼儀をしっかり行うことも大切です。また、友人や先生方、地域の方々などからの信頼を得るには、自分たちの言動や礼儀などが、本当に正しいものなのか自分で考え、行動する必要があります。郡中学校の教育目標である「自ら行動・達成して感動」のような、自分で考え、行動に移し、新たな発見や失敗から自身の成長につなげる、そんな郡中生であってほしいと願っています。本日の生徒総会において、各学級の様々な意見をもとに、郡中の生徒のあるべき姿＝「郡中BRAND」を創り上げました。生徒全員が協力し、郡中学校ならではの「愛される生徒、愛される学校」を目指していきましょう。

第77代郡中学校生徒会

学年・組	あるべき姿	理由
1年1組	一人一人を大切にできるように思いやりや礼儀をもち、信頼される生徒や学校。	思いやりをもつと1人1人を大切にすることができより良い学校になるから。
1年2組	困っている人を助け積極的に行動する学校。	困っている人を助け積極的に行動することで仲間と協力でき地域の人に挨拶などをできると思ったから。
1年3組	個性を認めた上で相手のことを考え余裕をもって行動する。	ひとりひとりの個性を認め合い相手のことを考え余裕をもって行動すると良い行動にすることができるから。
1年4組	思いやりをもち、元よく挨拶や人のために行動ができる人。	素敵な学校だなど思われるようにしたかったからです。
2年1組	一人ひとりの違いを認め、助け合う集団。	周りを見て行動し誰にでも優しく、違いを認めあえる学級や学年を目指したいから。
2年3組	仁義、礼儀、正義を大切にす	この3つを守ることで、郡中BRANDにより近づけることができるから。
2年6組	素直で真剣に授業に取り組み、礼儀正しい人。	その人たちのほうが、信頼されるから。
3年2組	S(smile) R(Respect)	誰もが笑顔になれて個人を尊重出来る学校（生徒）になって地域の方々や来校された方々が学校の雰囲気だけでつられて笑顔になれる学校を創っていききたいから。
3年3組	認め合える生徒	愛されている人の良さは、思いやりをもって行動することで、お互いお互いを認め合うことのできる生徒は、思いやりをもって行動ができると思うから。
3年6組	相手のことを認め、自分のことも大切にする。	自分の行動を大切にすることで相手の行動も大切にすることができ、結果的に相手のことを考えられる人になることができると思うから。

※紙面の関係上、1年生～3年生までの全19クラスの発表された意見から、代表で10クラス分を掲載させていただきました。ご了承ください。